

■「クラブフォーラム」主催 / 会員増強委員会

木村龍次 会員増強委員長



本日は、会員増強委員会のクラブフォーラムということで、会員増強シートの作成にご協力いただきありがとうございます。お気付きかもしれませんが、今日の座席はロータリー歴の長い会員から順次席を設けました。この意図は、会員増強に対する考え方が世代間で異なるのかということを確認するのが一つの目的であったためです。先程、各テーブルで出た意見が発表されましたが、皆さんはどのように感じられたでしょうか。しかし、実は本日のクラブフォーラムの目的は別のところにあります。すなわち、「会員増強」とは単に会員を増やすことなのか？結局「会員増強」は何のためなのか？ということを考えていただくことが主眼で有ります。

「会員増強」とは単に会員を増やすことなのか？

- 1 通常「会員増強」とは、「会員数の増加」を意味しており、「会員増強」の実行計画といえば、会員を増やすため或いは退会防止のためのノウハウや手続きが議論されることが多いようです。本日の増強シートも、皆さんは主としてそのような視点で意見、方法を記入されたのではないのでしょうか。しかし、「会員増強」は、単に会員数の増加、会員数の拡大を意味するだけなのでしょう。
- 2 今回のクラブフォーラムを実施するに当たり、私自身が会員増強の真の目的を理解していなかったため、その目的の本質を考えるため、インターネット上のロータリークラブに関連する記事等を多数閲覧しました。その中で、私が若い頃に知り合った弁護士の渡邊 隆さん（習志野RC・1998-1999年ガバナー）の講演録が引用されているのを見つけました。そこでは、渡辺元ガバナーは「会員増強を会員数の増加としてのみ捉えるのではなく、会員組織の強化の問題として考えることが必要です」と強調されていました。
- 3 それでは、「会員増強」を「会員組織の強化の問題として考える」とはどういうことでしょうか。そして、「会員増強」が他人事ではなくクラブと私たち会員にとって重要問題であるとされるのはなぜなのでしょう。さらに、色々調べると「会員増強」が「会員数の増加」という意味で使われているのは、どうやら「会員増強」という訳語の使われ方に混乱があるためようです。「会員増強」は日本における英語版では「Membership Development」とされています。しかしながら、『手続要覧』の英語原典版では、「Membership Growth and Development」と記されていて、量的な増大を意味する(Growth)と質的な成長・進化・発展を意味する(Development)という2つの言葉が記載されているということでした。ところが、日本語版では「Membership Growth and Development」という言葉に込められた、会員及び会員組織の質的発展というニュアンスが伝わらず、「会員増強」=「数の拡大」とされたようです。
- 4 そして、英語原典版の「会員増強」「Membership Growth and Development」という言葉には、三つの意味がこめられているということでした。一つは、「クラブ組織の強化」です。ロータリークラブに完成という状態はなく、ロータリーの奉仕の理想を効果的に実践するために、クラブは組織として絶えず成長してゆかなければなりません。会員数が増えたことが、本当にクラブが成長しているのか、単に肥大化しているにすぎないのを見極める必要があります。もし、新会員増加が数を増やすことだけを目的にし、組織の強化につながらなければ、それは「会員増強」とは言えないということです。二つめは、「会員一人一人の資質・能力の開発」ということです。組織の成長・発展は、その組織のメンバーの一人一人の成長・発展に支えられています。「入りて学び、出でて奉仕せよ」というスローガンに示されているように、クラブは学びの場であり、メンバーは、クラブにおいて共に活動し、その個性と能力を十全に発揮する機会が与えられなければならないということです。最後に、三つめが、「(増強)活動の結果としての会員数の増大」ということです。「数の拡大」=「会員増強」ではない、という今までの説明と反するようですが、会員数の増大(拡大)は、ロータリー理念の普及という使命から必然的なものであり、これを否定することはできません。様々な具体的な「会員増強」活動の結果として「会員数の増大」が実現すると考えるべきだといわれています。

結局「会員増強」は何のためなのか？「会員増強」とは「会員組織の強化・充実」であるという共通認識が得られれば、「会員増強」が自クラブの成長・発展の基盤であることが理解されます。そのため、会員やクラブの質の向上を前提にした「会員増強」は、結局ロータリアン一人一人の「奉仕の理想」の実践的な活動ということになります。

「会員増強」は、会員組織の強化・充実を図るための具体的な行動をクラブのメンバーの一人一人に求めます。「会員増強」は、「会員増強委員会」だけに任せれば済む問題ではなく、クラブ全体で、しかも年度を越えて継続的かつ長期的に取り組むべき重要課題ということになります。

最後に、『章典』5.090.3にあります「ロータリーの目的の本質は、個人による奉仕の理想の実践という責任の受諾にある。…この責任の中には、…ロータリーの拡大に助力するという義務も含まれている。」という言葉の皆様へ伝え、会員増強委員会のクラブフォーラムを終了いたします。ありがとうございました。

■委員会報告

青少年奉仕委員会

先週27日、当クラブからは20名のご参加で茂原樟陽高等学校にてインターアクト年次大会を開催致しました。無事に終了しましたこと報告致します。

野球同好会

8月29日(土)松戸西と対戦しました。好プレー、珍プレーが outcome して13-1にて勝利しました。今のところ三連勝です。白井会員が肉離れを起こしました。皆さん試合の時は怪我をしないようご注意ください。

■ニコニコBOX

- ・並木…鳥海さんをよろしく願います。
- ・海寶…誕生日御祝を頂きありがとうございました。病体ながら喜寿を迎えることが出来ました！
- ・平良…52歳になりました！
- ・花澤…結婚お祝ありがとうございました。
- ・木村龍次…本日の会員増強委員会クラブフォーラムにご協力ありがとうございました。力を合わせて増強を実現しましょう。
- ・友田…関東大震災から92年、今日は防災の日。皆様、備えよ常に お忘れなきよう！
- ・中谷…53歳です。大人になります。
- ・鳥海…千葉西ロータリークラブでお世話になります。よろしく願います。

本日の出席	総数	対象者	出席	欠席	出席率	合計	次週のプログラム
	61名	57名	41名	16名	71.92%		
前々回修正	メーキャップ	出席	欠席	出席率	累計	743,000円	東天紅 点鐘12:30
	2名	41名	11名	81.03%			